

西川 コミュニティだより

第64号

■発行／西川地域コミュニティ協議会

電話 0256-88-5900

■発行日／令和7年12月25日

FAX 0256-78-7544

■〒959-0423

■ホームページ／<http://kasaboko.jp>

■住所／西蒲区旗屋701-2

「笑顔で にしかんぐー！」のまちに

西蒲区長 堀 峰一



西川地域の皆さまには、コミュニティ協議会を中心に地域づくりにご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

西蒲区長に就任し、もう少しで丸3年を迎えます。

今年も残りわずかとなりましたが、引き続きどうぞよろしく願っています。

西蒲区では、新潟市の予算の力点「安心・安全」「活力・交流」「子育て・教育」を基本に、区の魅力である「食・農業」「観光」を活用し、区内外に発信するとともに、地域の魅力発見や愛着、人と人があたたかくつながるまちづくりを目指し、取組を進めています。

今年度は、西蒲中央病院様との協定のもと、同病院の送迎バスの空席を買い物や通院などにご利用いただける「にしかんぐー」をお出かけサポート事業の運行を開始しました。西蒲中央病院様のご厚意に感謝するとともに、病院利用者様が優先となりますが、西川地域の移動手段としてぜひご利用いただければと思います。

そして、西蒲区役所の新庁舎整備もいよいよ本格的に動き出しました。

年内には基本設計を完了し、引き続き実施設計に着手します。また、区役所周辺道路についても測量や関係者との協議を進めており、課題解決に向けて取り組んでいきます。

なお、現在地での建替えに伴い、区役所機能は3か所に分散移転いたします。

来年2月には産業観光課、農業委員会が岩室出張所へ、3月には区長室、地域総務課、建設課、西蒲区教育支援センターが西川出張所へそれぞれ移転します。また、5月には区民生活課、健康福祉課が巻図書館隣りに建設する巻仮設庁舎への移転を予定しています。

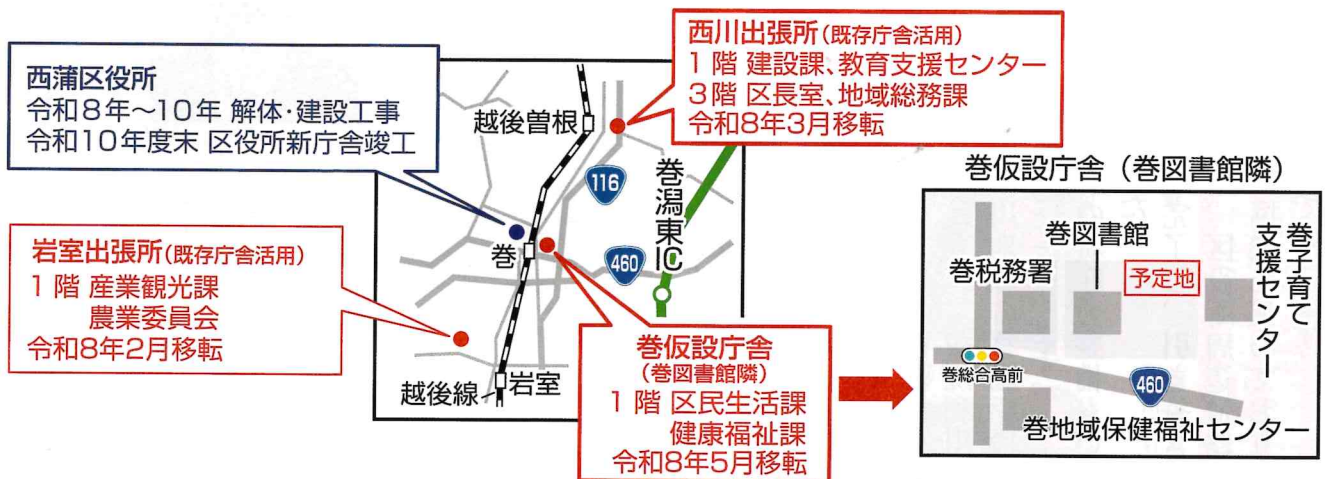
区民の皆さまにはご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

まちづくりの主役は区民の皆さまです。西川地域においても、西川まつりや時代激まつり、緑の音楽祭など地域の特色を生かした魅力あふれる取組が行われています。新たな動きも各地域で生まれています。引き続き皆さまの前向きで積極的な活動、思いの実現を支援し、ともに取り組んでいきたいと考えています。



西蒲区役所庁舎建替えに伴う、区役所機能の分散移転について

移転先	区役所機能	移転時期
岩室出張所	産業観光課・農業委員会	令和8年2月
西川出張所	区長室・地域総務課・建設課・ 教育支援センター	令和8年3月
巻仮設庁舎 (巻図書館隣)	区民生活課・健康福祉課	令和8年5月



区民の皆様にはご不便をお掛けしますが、
ご理解・ご協力いただけますようお願いいたします。

西蒲区役所 地域総務課企画・地域振興グループ (☎0256-72-8156)

第8回 スポーツ玉入れ大会

日時：令和8年3月1日(日)
午前9時30分から
場所：西川体育センター
主催：西川地域コミュニティ協議会



らの勤務となります。

今まで、単身赴任が長かったため、西川地域のことを何も知らなかったことがよくわかりました。これからは、もつとこの地域のことを勉強して、微力ながら皆様方のお役に立てるよう、努力してまいります。

これからも、皆様のお力添えとご指導を賜りますようお願い申し上げます。

どうぞ宜しくお願い致します。



この度、西川地域コミュニティ協議会の事務局長を拝命いたしました加藤と申します。

今年、民間会社を65歳で定年になり、6月から

西川地域コミュニティ協議会
事務局長 加藤 浩信

事務局長就任のごあいさつ

【図書館】

おかげさまで
西川多目的ホールも20周年

新潟市立西川図書館 辰口 裕美

本誌63号でも20周年の感謝を述べさせていただきましたが、図書館以外のことにも触れたいと思います、無理を言って誌面を割いていただきました。20年間、多くの方に支えられてきました。音響や照明の相談に乗ってくださる方や雑草を取ってくださる方などです。本当にありがとうございます。

・：そのことを記そうとしていたら、いちばん皆様と接する機会の多い管理人から、「このあふれる『おもい』を伝えたい」とのことでしたので、勤務している管理人4人の代表として、彼にこの場を譲りたいと思います。

管理委託業者 市川 伸介

私からは先般ホールで行われた「秋の芸能祭」を中心に紹介します。

新潟美醸会「酔龍」による女太鼓で開演すると会場は割れんばかりの大拍手で始まりました。剣舞や新舞踊、フラダンスの皆さんが華やかに舞います。リトルスワンバレリーナはとても可愛く、パパ



・ママはビデオから手が離せません。終わったときの拍手が微笑ましい。カラオケ倶楽部の面々は、幸ちゃん顔負けの衣装で登場、歌も上手いしファンも多い。締めはお決まりの相撲甚句です。力士の強さ、優しさを感じさせられました。

その他に様々なイベントが行われますが、会場の準備・設営に尽力される地域ボランティアの方々、本当にありがとうございます。私も西川育ち、地域の皆さまに喜んでいただきたい、そんな思いで親切的対応に努めております。

西蒲区に誇る文化施設、ここにあり

西川地区公民館 野崎 義和

西川多目的ホール建設前から現在に至るまで、関わられている同ホールボランティア代表、小林重一さんから同施設についてお話を伺いました。建設された目的や経緯について



合併を前に西川文化協会として学習館（公民館）より大きなホールが欲しいと思い寺泊と見附の2カ所を視察しました。寺泊の可動式ステージを観たら会員の皆さんが「この方がいいね」と言っていました。

ところが合併前にホールは完成したものの、全くの講演会のホールで、設備は後付けで何もありませんでした。その後、少しずつ備品を購入していただき、現在に至っております。

西川多目的ホールボランティアについて

最初、ボランティアは20名程所属していました。しかし5、6年経つと4、5人になり、再度講習会を開き、何度もやりましたけれど、なかなか集まりません。現在は4人でやっております。全くの無報酬ボランティアなので、仕方ないと思います。

今までで一番来場者が多く集まったイベントは？

蓮池薫さんの講演会でほぼ満席にしたことが一度あります。その後は100、200人程の聴衆です。

今後の予定や、お知らせについて

今後、「西川多目的ホールボランティア講習会」を同施設で、2月7日（土）と2月14日（土）午後6時～9時に行います。詳細については後ほど自治会回覧等でご案内します。ぜひ講習会に参加してください。

今も昔もこれからも西川多目的ホールを輝かせるのは「地域住民パワー」が欠かせないと思います。まずは同施設で行われる様々なイベント等にぶらりと、気軽に参加してみたいかがでしょうか。



【文化】

書き続けることが、一番

鱸二区 田中 紅龍(進二)

四十歳の時でした、友達に「近くに書道の先生が居るんでいつてみないか」とさそわれて始めました。簡単に考えていましたが、中に入ってみたら奥が深く、ついていけそうもないと思っていました。

そんな時、先生から「県展に出してみないか」と誘われ、出展するようになり、入選するようにもなりました。

五十五歳〜七十五歳までは、休んでいましたが、何もしないでいると、ボケてしまうと思い、また始めました。今も毎年県展に出展しています。



福



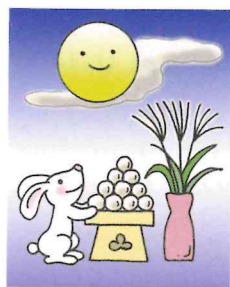
星空かたり 4シーズンありがとう

個人天文台長 吉崎 正人(鱸二区)

待望の来客

昨年の12月末号から、4シーズンにわたり星空話を載せていただき、また読んでいただきありがとうございます。今回は、天文台の紹介の機会までいただき感謝いたします。

さて、先日町内の方からお電話をいただきました。月がとってもきれいなので、今日、望遠鏡で見せていただけませんか?...スーパームーンの翌日でした。今まで、どうぞお声かけ下さいと言いつつも、一度も声がかからなかったもので、とてもうれしい気持ちでいっぱいでした。すぐ準備にとりかかり、準備が終わったところで、見ていただきました。まぶしいくらい月の満月から1日すぎたので、欠け際のクレターも見ることができました。そして、土星も丁度良い位置にきていたので、望遠鏡を土星の方向に走らせ、覗いていただきました。今シーズンは、土星を真横から見る状態なので、串だんご状の細いリングの土星を見ることができました。



天体望遠鏡で見たくなったら

お気軽に連絡ください。

天文台長は、ことのほか喜びます。

西蒲区鮎187-5

吉崎 正人

☎090-5394-9059

では、また会えることを楽しみにしています。ばいばい!!



吉崎天文台と観測会の様子

【幼児教育】

地域内の幼稚園・保育園のシリーズ ④1

ガンバって かいたよ！

曽根おひさまこども園



「かたつむり」

可愛いかたつむりの
親子をかいたよ。
あじさいや雨も上手に
描けたよ。

四歳児（こあら） 武田 凌久

「さかな」

いろんな魚や貝など
海の生き物を描いたよ。
白色で泡を描いて
楽しかったよ。

四歳児（こあら） 清田 明灯



「ハロウィン」

おばけかぼちゃ
おばけ、こつもりを
描いたよ。空の色を塗る
ところが楽しかったよ。

四歳児（こあら） 石田 琉唯



【国際通信】

春に損して、秋に得した1時間

稲川 祐子

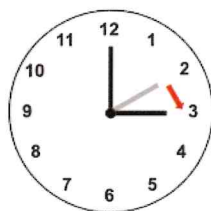
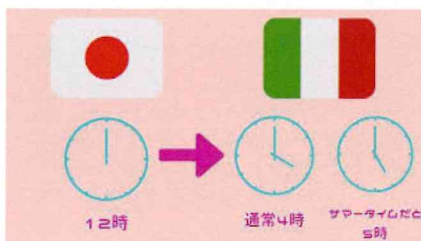
イタリアではサマータイム制度を採用して、毎年3月の最終日曜日から10月の最終日曜日までの期間がサマータイムとなり、時計を1時間進めます。この期間中、日本との時差は通常の8時間から7時間に縮まります。電波時計やスマホは自動的に変更しますが、アナログの掛け時計は時間を1時間戻したり、進めたりしなければなりません。ですが、この時とばかりに、埃を払い、時計はピカピカに磨かれます！

イタリアは1916年にドイツに次いでサマータイムを採用しました。これは世界的に見ても早い導入といわれています。その後、何度か廃止、再開を経て、1996年から現在まで実施しています。明るい時間を延ばすことによって、照明を使う時間を減らしたり、仕事を終えて帰宅した後の時間を明るくすることによって、外出しやすくなり、経済活動が生じること、日光を浴びて健康的な生活に貢献すること、暗い時間を減らし交通事故を防ぐことが期待されたりと、時間をつずらすことによる利点もあると言われる一方、家畜



の生活リズムが重要な農業や、体内時計への悪影響、また、サマータイムが開始すると睡眠時間が一時的に減るため、睡眠不足により交通事故やミスが起こりやすくなったり、エネルギー節約効果への逆効果などがあり、効果を疑問視する声もあります。2018年の協議では、400万人ほどの市民が反対票を投じています。このときは一部EU加盟国の反対を受け、サマータイム廃止には至りませんでした。実は、日本でも導入されていた時期があったようです。

戦後、GHQ「連合国軍最高司令官総司令部」によって日本にサマータイムが導入されましたが、たった4年で廃止されました。反対の理由としては、サマータイムによって明るい時間が延びたため、労働が延長されやすく、残業が増えたことから、世論の反対が強まったと言われています。廃止されてなによりでした！たった1時間、さ



西蒲・曾根郷ゆかりのお宝・資料展

西蒲・曾根郷ゆかりの文人研究会

『続・越後西川ふるさと事典』十月八・九日の両日、西川図書館を会場として「西蒲・曾根郷ゆかりのお宝・資料展」を予定通り開催したところ、多くの来場者があり、主催者として心よりお礼申し上げます。

平成の大合併によって、失われがちな地域の風俗や文化をまとめてみようという目的から、平成十四年十一月に第一回目の企画展と記録集を編集刊行しました。今回七回目の展覧会が実現しました。

この度の特色として、今までは書画掛軸が中心であったところ、民具・生活用品や祭り関係、古地図、昔の写真、郷土図書等の出品を行った点が新たな試みでした。

日を追って急速に変ぼうをとげる社会にあつて、いつの間にか姿を消したものを懐旧の念をもつて見つめる多くの人々がおられました。

また八日には、新潟大学七名の学生による、各自のふるさと自慢をスライドで紹介、次いで中国からの留学生・張さんによる西川生まれの日本画家・伝川白道子に関する研究発表、結びに佐藤克巳氏による、大逆事件の弁護人で明星派歌人だった平出修のルーツが、曾根の児玉氏にあつた事実と、平出の残した足跡の偉大さについて講演が行われました。

なお来場者には展示物に関係する記事を収めた『続・越後西川ふるさと事典』を進呈、この本は図書館をはじめ地域の公的機関に寄贈しましたので、興味のある方は手にとつていただければ幸いです。

『続・越後西川ふるさと事典』表紙



他、会場風景



【コミュニティセンター講座案内】

英会話教室

上村 晴香

こんにちは。西川コミュニティセンターにて、毎週土曜日の午前中に子ども向け英会話クラスを担当している上村晴香です。英語講師として長年、子どもたちと一緒に学ぶ時間を重ねてきました。クラスは、あえてネイティブ講師ではなく日本人講師が教えることを大切にしています。ただし、クラス内での指導はAll English。自身の英語学習経験で培ったことをベースに、日本語でフォローができるからこそ、英語が初めてのお子さんも安心して学べる環境をつくることができます。

レッスンでは、テキストを使って書く力、読む力を、そして講師との会話や楽しいボードゲーム、カードゲームを通して発話力、聞く力をバランスよく習得できるカリキュラムになっています。

英語が勉強ではなく、楽しい体験として記憶に残るよう、笑顔の絶えないクラスづくりを心がけております。

英語を学ぶことは、世界を広げる第一歩。お子様一人ひとりのペースを大切にしながら、自ら『学びたい』欲が溢れ出るよう、サポートさせていただきます！

毎週土曜日

午前9時30分から小学校2,3年生クラス
午前10時30分から小学校3,4年生クラス

上記対象外のご年齢であってもぜひお気軽にご相談ください！



【防犯】

不審な電話が来たら詐欺を疑って！

西川交番所長 鈴木 忍

昨年、県内における特殊詐欺被害の総額は約八億九千万円となりました。今年は、八月末の時点で約六億六千万円の被害が発生しています。最近多く発生している手口は、携帯電話や自宅に電話が来て自動音声ダイヤルでガイダンスが流れ、行政機関、通信事業者、警察官を名乗り、

・あなたの口座が不正に使用されている
・まもなく携帯電話が使用できなくなる
等と伝え、焦らせた後、警察を名乗る者から電話が来て、事件の容疑者であることを告げて、不安に陥れ、携帯電話のSNSに招待して、偽物の警察手帳や被害者の指名等が記載された偽物の逮捕状などの画像を送信し、不安をあおる手口です。

電話でお金の話が出たら、詐欺を疑い、いったん電話を切り、すぐに家族や警察に相談してください。



【歴史・文化】

「郷土俳人十人集」2作目 パート⑤

はらからや 重なり合うて 栗を焼く

加藤 嵐涯

【大意】

いつも一緒にいる、いとおい兄弟姉妹よ。今は秋。籠の中に重なって入っている栗の実を、みんなで重なり合いながら楽しそうにすることよ。



※さり気ない表現に生の実感の句

前回に続き、「郷土読本」の「郷土俳人十人集」を紹介することができた。終わりに、ご指導いただいた寺尾亜真李先生からのコメントを紹介して御礼としたい。

（前略）感じましたのは、月光（桜の花・梅の花）、虫の音を愛でる心が、今よりも強いこと。下女・馬の脚・稲・荷・栗を焼くなど当時の暮らしぶりが実によく表現されていること…

（後略）

【防災】

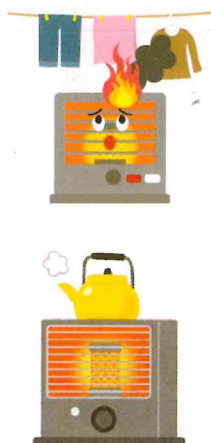
冬に備えて火の用心

西蒲消防署西川出張所長 樋口 博之

新潟市における建物火災件数は、12月から3月までの冬季間に多い傾向があり、原因としては、暖房器具を使用する機会が増えることが一因です。最近の住宅では、高気密住宅でのオール電化や石油ファンヒーターの普及で石油ストーブの使用が減っていますが、地震など停電時にも暖房器具として使用できることや、お湯を沸かせることなどから、今もたくさんの家庭で使用されています。

ストーブ火災を防ぐためのポイントとしては、①ストーブの近くで洗濯物を干したり、毛布など燃えやすいものを近くに置かない。②給油する際は、必ず一度消火してから給油をする。③消毒で使用するアルコールは、ストーブの付近で使用しない。④スプレー缶は、ストーブの近くに置かない。などがあります。

暖房器具は正しく取扱い、火災にならないよう注意し、寒い季節を安全に温かく過ごせるよう冬に備えましょう。



かさぼん賞

「お役目大事」 稲川 ヤイ子



だいて賞

「力合せてヨイショ！」 小林 ゆり子



最優秀賞

「化粧直し」 佐野 洋司

「入賞作品」
をご覧ください。

「西川まつり」写真コンテスト
入賞作品をご紹介します

西川地域コミュニティ協議会
「西川祭り写真コンテスト」係

作品の展示

入選作品は、1月10日(土)から西川図書館エントランスで開催(予定)の「昭和写真展」会場で展示いたします。



かさぼん賞

「最後だー」 中野 一樹



曽根神社賞

「雅(みやび)」 小林 ゆり子

おめでとうございます

◆第53回 芸展

【入選】 洋画 大橋 豊子 (八番町)

写真 田中 恵子 (鱈)

◆第56回 県ジュニア展

【優秀賞】 入澤 琉音 (曾根小4)

【奨励賞】 水澤 怜来 (和光幼稚園5歳児)

布川 沙成美 (和光幼稚園5歳児)

関根 美結華 (鎧郷小1年)

岩堀 陽樹 (曾根小2年)

田中 悠太郎 (曾根小3年)

山岸 麻琴 (升潟小3年)

早川 侑奈 (曾根小6年)

◆第14回 新聞スクラップコンテスト

【優秀賞】 鈴木 琉斗 (曾根小2年)

【入選者】 吉川 円悠 (曾根小1年)

澤井 すみれ (曾根小1年)

岸本 和華 (曾根小2年)

小甲 空 (曾根小3年)

高橋 奨真 (曾根小3年)

生田 晃介 (曾根小4年)

松原 陽向 (曾根小4年)

吉川 凜 (曾根小5年)

【団体賞】 新潟市立 曾根小学校

◆令和7年度 河川美化啓発ポスターコンクール

【西蒲区長賞】 小出 絃葉 (鎧郷小4年)

【優秀賞】 板谷 佐和子 (鎧郷小4年)

◆県中学生人権作文コンテスト

【優秀賞】 鈴木 咲月 (西川中2年)

【優秀賞】 渡邊 羽琉 (西川中2年)